

● いろはがるた 二

次の文はいろはがるたです。意味を後ろから選んで記号で書きましょう。

- ① ちりも積もれば山となる (キ)
- ② 地獄(ぢごく)の沙汰も金次第 (ウ)
- ③ 綸言汗のごとし (コ)
- ④ 糠に釘 (ア)
- ⑤ 瑠璃も玻璃も照らせば光る (ク)
- ⑥ 老いては子に従え (イ)
- ⑦ 破れ鍋に綴じ蓋 (ケ)
- ⑧ かったいの瘡(かさ)うらみ (カ)
- ⑨ 葦(よし)のずいから天井のぞく (オ)
- ⑩ 立て板に水 (エ)

ア 手ごたえなく効き目のないことのとえ。意見しても効果のないことなどにいう。
イ 年老いては何事も子にまかせてこれに従えという意。

ウ 地獄の裁判でも金で自由にできるといふ、金力万能という諺。

エ 弁舌がすらすらとしてよどみのないさま。

オ 自分の狭い見識で、広い世界のことについて勝手な判断を下す。

カ 自分より少しでもよいものを見てうらやむことのとえ。

キ わずかなものも、積み重なれば高大なものとなることのとえ

ク つまらぬものの中に混じっていても、素質のすぐれたものは光を当てれば輝いてすぐに分かる。

ケ どんな人にもそれ相応の配偶者がある。また、配偶者は自分相応のものがよいというたとえ。

コ 一度口に出した君主の言は、取り消すことができない。

(広辞苑より引用)

言葉の学習

常伸スクール